

旧新河岸川の自然環境保全

山田敏夫 議員

問 旧新河岸川の自然環境を保全し、生かしていくための構想と施策は。

答 旧新河岸川は、富士見市との境界及び管理区分についての協議が確定していない。協議が整った後、親水空間などの自然環境を保全し、生かしていくための構想と施策について研究していきたい。

農業振興と市民農園

有山 茂 議員

無電柱化の推進を

民部佳代 議員

問 旧新河岸川の自然環境を保全し、生かしていくための構想と施策は。

答 旧新河岸川は、富士見市との境界及び管理区分についての協議が確定していない。協議が整った後、親水空間などの自然環境を保全し、生かしていくための構想と施策について研究していきたい。

無電柱化の推進を

問 災害時に電柱が倒れ緊急車両の通行を妨げた、狭い道路では歩行者が電柱を避け車に接触するなど事例がある。災害・事故対策と魅力ある街づくりのために無電柱化推進計画を策定しては。

答 平成28年2月に電線の埋設深さの基準が緩和された。国の動向に注視しながら研究したい。

仕事と介護の両立支援

問 仕事があっても週末に親のことを相談できるよう、高齢者あんしん相談センターの土曜日、日

問 小中学校の保護者負担金 義務教育でありながら教科書以外の教材を保護者負担金として徴収している。例えば理科実験も以前は学校が器具を用意していたが、今は保護者負担金でキットを購入する。負担の考え方は。



上福岡駅西口から見た風景

加工したもの

農業振興と市民農園

問 市民農園の今後の計画は。

答 平成28年に7カ所目を開設した。適地を選定し増設を検討をしている。

問 盗難防止看板に抑止力の効果があり、設置後は被害が軽減した。

問 仕事があっても週末に親のことを相談できるよう、高齢者あんしん相談センターの土曜日、日

青少年の深夜徘徊の実態

谷 新一 議員

問 少年非行について、深夜徘徊するグループの存在やたむろする場所等の実態は。

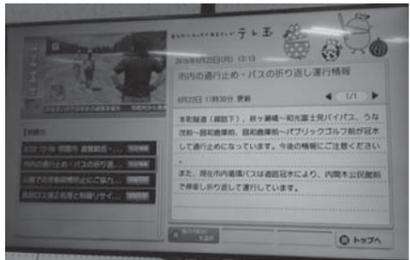
答 犯罪を犯した非行少年の数は減少傾向にあり、市内居住では、平成26年は42人、平成27年は

31人となっている。また深夜徘徊する非行少年グループや活動場所等は、警察の捜査活動上、詳細は公表されていない。ネット環境の普及により地元で固執せず広域化し、少年同士のつながりも複



テレビでの防災情報

鈴木啓太郎 議員



データ放送に流れる防災情報

市民が教育ローンを借りた場合その利子の一部を補填する利子補給制度の導入を考えるべきでは。

答 本市では経済的な理由で進学が困難な方に奨学金、入学準備金の貸し付けを行っているが、教育ローンは多くの方が利用しており、利子補給方式に多くのメリットがあると認識している。

地域福祉計画の次年度の課題は

問 地域福祉の次の課題として、包括的な総合相談をするなどの課題に取り組むべきでは。

答 複雑化し複数の課題を抱える世帯は地域全体で支える必要がある。地域福祉の核となるコミュニケーションソーシャルワーカーの配置を含め、新たな地域包括システムを検討する。

子育て支援センターの役割と今後

床井紀範 議員

問 子育てコンシェルジュの役割、配置による効果は。

答 相談の対応・課題整理を行い、子育て支援機関と連携し、事業を行っている。「困っている」というサインに気づき、悩みが小さいうちから関わること、予防的効果もある。

問 今後の計画は。

答 子育て支援センターの事業を円滑に実施するため、事業の拡充を検討している。

要支援1・2の介護予防・日常生活支援総合事業

問 現行の訪問型・通所型サービスは、来年度からどのようなように変わるのか。

答 平成29年4月から、従来の介護予防の訪問介護及び通所介護は、介護予防・日常生活総合支援

コミュニティ・スクールの周知を

川畑京子 議員

問 本市が目指す地域協働学校（コミュニティ・スクール）を推進していく中で、基本理念や方向性、具体的な内容の周知、広報活動は大変重要と考えるが。

答 全教職員への説明会を平成29年度に予定している。また、モデル校として指定する上野台小学校、東台小学校の具体的な



英語教育の取り組み

未来へ向けた英語教

問 市道（駒林地区）の整備方針は

問 災害対策本部と議会との連携

問 育の取り組みはどのようなものか。